



キャンピングカーを災害時に活用 7月28日 日本RV協会と協定締結

7月28日（火）、一般社団法人日本RV協会と「災害時におけるキャンピングカーの提供に関する協定」を締結します。

大規模災害時には、避難者の生活環境に加え、救援活動にあたる職員や支援者の休息・宿泊場所の確保が課題となります。本協定により、災害時等に市から同協会へキャンピングカーの提供を要請でき、170社以上の会員企業への呼び掛けを通じて、避難所や災害対応現場の休息・宿泊・活動拠点を補完する体制を整えます。また、平時から災害時における有用性の周知や防災訓練等での連携を進めます。



《災害時に貸し出しを受けるキャンピングカーの例》

【災害時におけるキャンピングカーの提供に関する協定締結式 概要】

日 時： 7月28日（火）11:00～11:30

場 所： 宗像市役所 北館204会議室

出席者： 一般社団法人日本RV協会 会長 荒木 賢治 氏（株式会社ナッツ代表取締役社長）

宗像市長 伊豆 美沙子

内 容： 協定書署名、出席者あいさつ、記念撮影、キャンピングカー車両見学

【補足】

本市は、令和4年10月に株式会社ナッツと同様の協定を締結しています。今回、同社1社との連携を日本RV協会との連携へ発展させることで、協会会員が保有する車両の活用も視野に入れた協力体制を構築します。能登半島地震では、60台以上のキャンピングカーが支援に向かい、現地で活動する自治体応援職員の宿泊場所などに活用されました。キャンピングカーは、車両によって電源、寝具、調理設備などを備えており、災害対応を支える手段の一つとして活用されています。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください
宗像市危機管理課 担当： 森 TEL： 0940-36-5050